

---

# **とある女達(アイテム)の雑談**

超電磁ボーイ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タ  
テ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。  
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者また  
は「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒ  
ナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範  
囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致し  
ます。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

とある女達アイテムの雑談

### 【著者名】

Z2895Q

### 【あらすじ】

超電磁ボーイ

禁書15巻前の設定のアイテムです

(前書き)

がんばりました！

「む、学園都市のフードマーストである

「結局麦野へなにやる~?」

「とりあえず、鮭弁食べるかな~」

「左斜め前から、レールガンのAINを感じた

「第3位がいるんだ~」

「あれ~ 最愛ビニールの~?」

「B級映画観に行つた・・・第10学区」

と滝壺がだるそうに答えた

やつ、こりこりいるのは暗躍組織「アイテム」である  
最近は、仕事もなくみんな自由行動なのである

「やついえば、浜面ビニルたの?」

「結局私の、缶詰め買ひにいつたんよ」

「あつや

とフードマーストにこりこり持ち込みそこで食べるを繰り返しあつてゐるのである。

「おーー買つてきたーー!れでいいんだな?」

と浜面が到着したのである

「確かに、あつてるね、浜面でもできるんですね」

「馬鹿にするなー!フレンダ」

はーはー、とどうでもいい感じでながされた  
そこで浜面が麦野に話しをふることにした

「で?今日はなにするんだ?麦野?」

うーんと考へてるのか窓の向こうつつをみて

「自由行動でいいでしょ?」

『・・・・・』

みんなが、固まつてゐると

「どうかしたの?」

「ぜんぜん、なら俺どつか行くぞ?」

と確認すると

「いつてらつしゃーい!電話こはでてね」

「わかった

ばいば〜いと麦野が鮭弁を食べながら手をふった  
そしてフレンダが

「結局私は、どうすれば?」

「どこかに行けば?ねえ滝壺」

「うんそうだよフレンダ」

う〜んとうなつていて

「やつほ〜第3位!元氣?」

あつ!滝壺とフレンダがあたふたしてると

「アンタ!たしか・・・・第4位の原子崩しー...」

と御坂が叫ぶと

「私は、麦野よ!御坂さん」

あつそと御坂が言つと

「私、これから予定あるからまたね」

と御坂が店をしてしまつた

「暇になつちやつた」

この後待ち受ける悲劇(現実)も知らずに過ぎていいのだった

(後書き)

どうでしたか？

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2895q/>

---

とある女達(アイテム)の雑談

2011年1月26日08時00分発行